

# 静岡市立美和小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年4月13日(木)



4月13日(木)、静岡市立美和小学校で6年生の皆さんを対象に、土器の分類、黒曜石の試し切り、火起こし等の古代体験の出前授業を行いました。初めて本物の土器に触れたり、実際に石器で野菜や紙を切ったり、火起こしの体験を通して昔の人々の暮らしの一端に触れ、古代の人々の生活や歴史に関心をもって、真剣に取り組む姿が見られました。

◎土器分類体験



3つの時代(縄文・弥生・古墳)の土器についての説明を受け、本物の土器片をみんなで分類してみました。それぞれの時代の土器の特徴や違いを実際に手で触れながら分類に挑戦しました。

◎石器(黒曜石)試し切り体験



黒曜石の石器を使って、紙や野菜を切る体験をしました。とても、よく切れたことに驚いていました。また、昔の人々は鋭く尖る石を探し、長野県や伊豆諸島まで出かけて行き石器として使用しています。それが、自然のガラスである黒曜石です。



◎火起こし体験



実際に挑戦してみると、火を起こすことは大変でした。しかし、火を使うことで、私たち人類は、明るく・暖かく、こわい動物におそわれたりせずにくらすことができるようになったばかりでなく、煮たり焼いたり物をおいしく食べるできるようになりました。

最初は、なかなか火が付きませんが、みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火を起こすことができました。煙が目にしみてつらかったけれど、昔の人々の苦労や工夫を感じることができました。